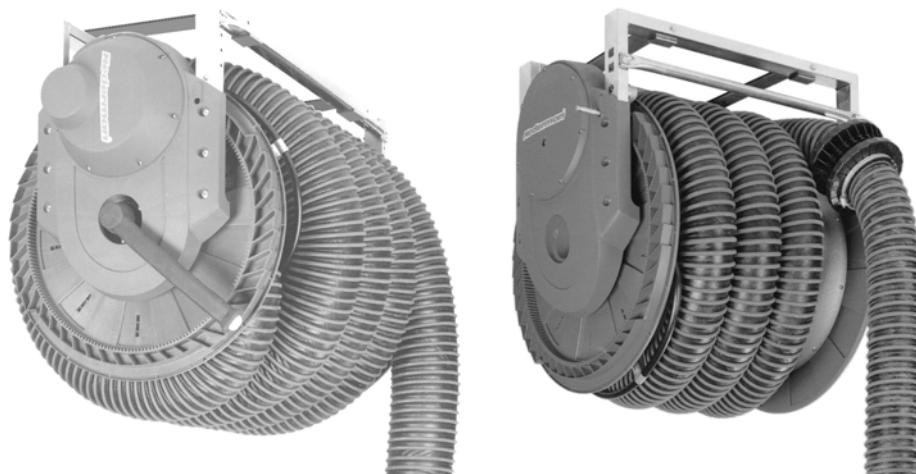
Doc. No.	EXT 011S-04

yamada

設 置 要 領 書

電動式・スプリング式排気ホースリール
（Nederman）

⚠ 警告

安全のため、本製品の施工前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
お読みになった後は、本設置要領書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本製品を安全に正しくかつ効率的にお使いいただくための重要な事項を記載しています。施工前に本書を熟読し、特に本書の冒頭の「警告･注意事項」の項をよくお読みになり、ご理解された上で施工を行ってください。施工終了後は、実際にご使用になるお客様に本書を確実にお渡しください。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行なう方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容を良くご理解いただくようによくお読みください。

警告 ： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

注意 ： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 設置に関する注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告

- 高所での作業を行う場合、転落などの事故が起きないように十分注意し、安全帯を着用するなどの措置をとってください。また、万一の場合に備え、作業する周辺にはむやみに物を置かないでください。

- 装置を天井などに取付ける場合は、装置を十分に支えられるような固定法を用いてください。固定が不十分であると、装置が落下する可能性があり大変危険です。

注意

- 装置は水平になるように設置してください。故障の原因となります。

- 配管への接続後、接続部分に隙間がないか確認し、隙間がある場合は漏れ防止の措置を行ってください。

目次

1. 梱包内容

本製品は、段ボールケースに主機器と付属品が個別に梱包されています。
段ボールケースの上部を開梱し、本体･接続ダクトの損傷、並びに紙製テンプレート（Fig. 1）の有無を確認してください。

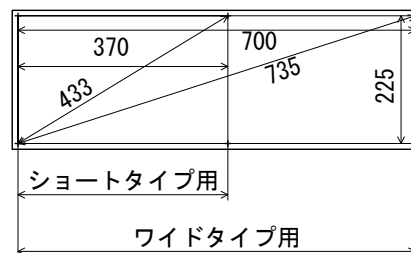
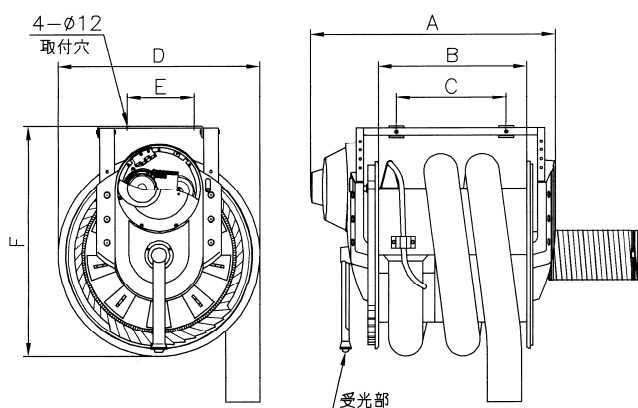
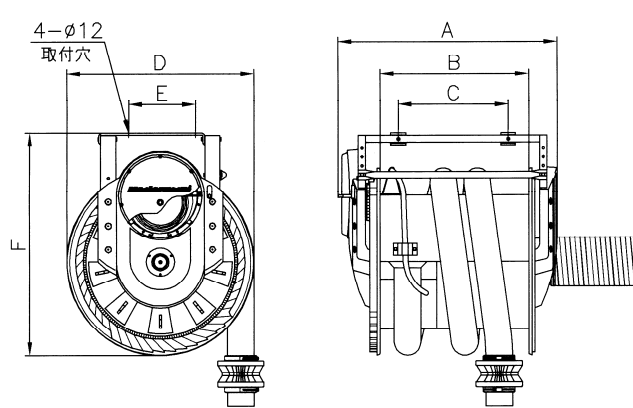



Fig. 1

2. 仕様諸元

■電動式排気ホースリール

■スプリング式排気ホースリール

＜電動式排気ホースリール＞

製品番号	製品名称	ホースサイズ	寸法（mm）						質量 (kg)
			A	B	C	D	E	F	
H806465	電動式排気ホースリール（ショートタイプ）	4"(φ100) x7.5 m	825	500	370	φ680	225	775	30
H806165	電動式排気ホースリール	4"(φ100) x7.5 m	1155	830	700				38
H806565	電動式排気ホースリール	4"(φ100) x7.5 m							40
H806665	電動式排気ホースリール	5"(φ125) x7.5 m				φ730		800	45
H806765	電動式排気ホースリール	6"(φ150) x7.5 m				φ780		825	49

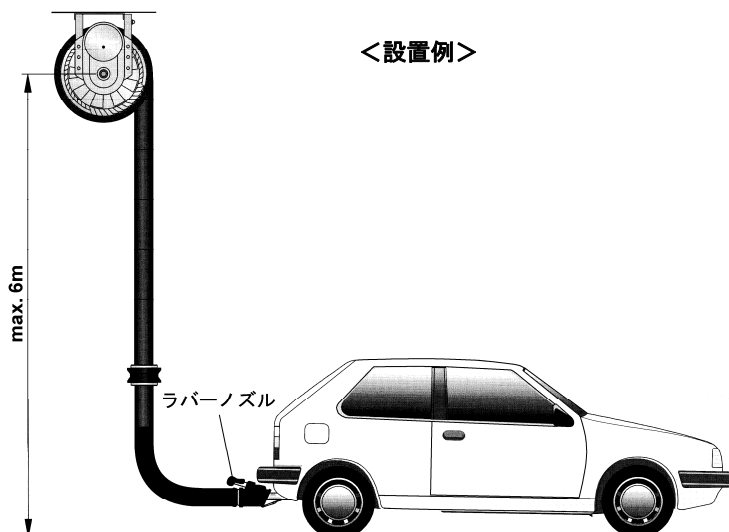
＜スプリング式排気ホースリール＞

製品番号	製品名称	ホースサイズ	寸法（mm）						質量 (kg)
			A	B	C	D	E	F	
H808565	スプリング式排気ホースリール（ショートタイプ）	3"(φ75) x5 m	725	500	370	φ630	225	750	26
H811465	スプリング式排気ホースリール	4"(φ100) x7.5 m	1055	830	700	φ680		775	37
H808765	スプリング式排気ホースリール	5"(φ125) x7.5 m				φ730		800	39
H808865	スプリング式排気ホースリール	6"(φ150) x7.5 m				φ780		825	41

※ショートタイプと指定されていない製品は、全てワイドタイプになります。

3. 設置

3.1 設置場所の選定

排気ホースリールは、天井または壁面に取付けることができます。また、床面からの取付高さは、作業エリア及び排気ホースの引出し長さを考慮して決定してください。
（最大取付高さは＜設置例＞の通り）

3.2 設置方法

1) 取付位置に、排気ホースリールに付属してあります紙製のテンプレートをもとに、アンカーボルトなどを施工してください。
2) 排気ホースリールより取付金具を取外してください。（Fig. 2）
3) 取外した取付金具をアンカーボルトに固定します。天井に取付ける場合は取付金具の方向を左右同じ方向に取付けてください。
   壁面に取付ける場合は Fig. 2 の向き（排気ホースリールを取付ける際に上側からスライドさせるような方向）にして取付けてください。
4) 排気ホースリールを、3)で固定した取付金具へ引掛けるように設置します。（Fig. 3, 4）
5) 取付金具と排気ホースリールのフレームを、付属のボルトで固定（4 箇所）してください。

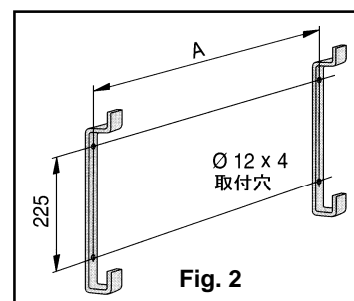
Fig. 2

A=370 ショートタイプ
A=700 ワイドタイプ

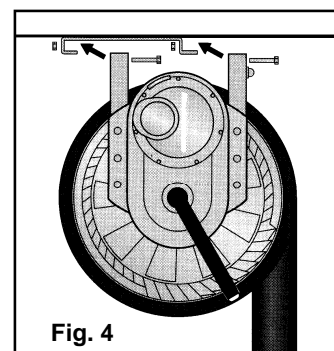
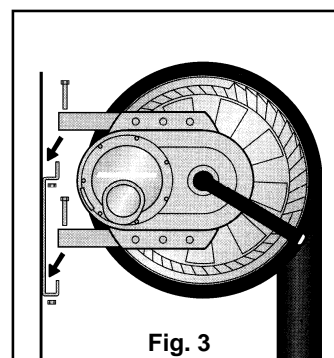
Fig. 3

Fig. 4

⚠ 警告

- 高所での作業を行う場合、転落などの事故が起きないように十分注意してください。また、万一の場合に備え、作業する周辺にはむやみに物を置かないでください。
- 装置を天井などに取付ける場合は、装置を十分に支えられるような固定法を用いてください。固定が不十分ですと、装置が落下する可能性があり大変危険です。

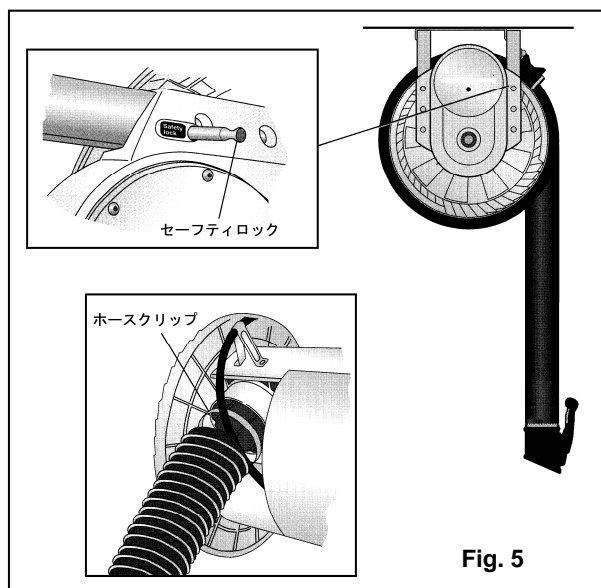
⚠ 注意

- 装置は水平になるように設置してください。故障の原因となります。

3.3 排気ホースの取付け（Fig. 5）

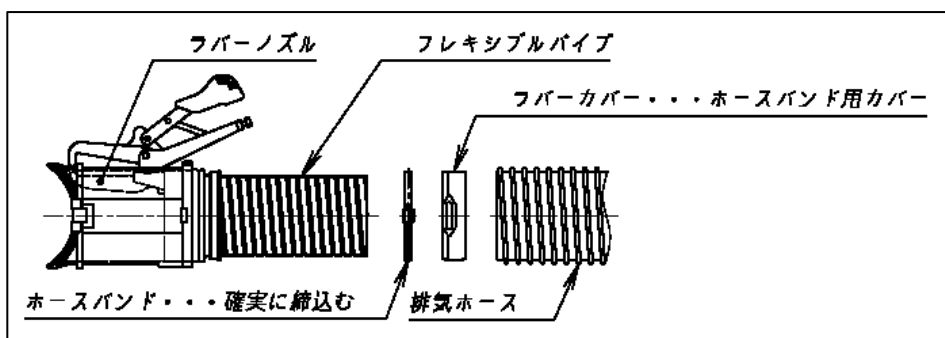
排気ホースの取付けは下記の手順（スプリング式排気ホースリールの場合）で行ってください。

1) セーフティロックを押して、ドラムを固定してください。
2) 排気ホースをドラムにホースバンドで取付けてください。
3) セーフティロックを解除し、緩むことなく確実に巻取れるか確認してください。

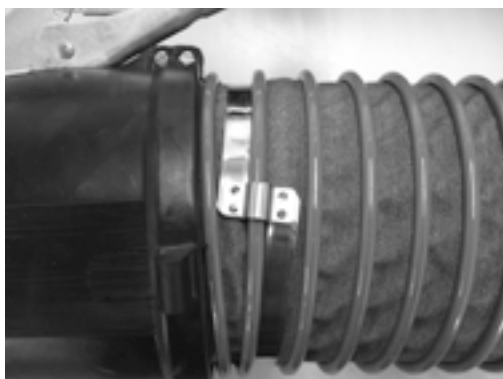
・ 電動式排気ホースリールでは、電気不通時にはブレーキが掛かっています。
（セーフティロックはありません）
取付けは 手順 2) を行ってください。

Fig. 5

3.4 ラバーノズルの取付け（Fig. 6, 7）

1) ラバーカバー及びホースバンドに排気ホースを通してください。
2) 排気ホースをラバーノズルのフレキシブルパイプ部の奥まで差し込み、ホースバンドを排気ホースの端まで移動させてください。
3) ホースバンドにて確実に締め付けてください。（締付けトルク参考値：2.5 N・m）
4) ラバーカバーをホースバンドの上に覆い被せ、ホースバンドの金属部が見えないようにしてください。

Fig. 6

⚠ 注意

- ホースバンドを強く締めすぎると溶接部が変形し、溶接が外れる恐れがあります。ホースバンドの溶接部が変形しないように注意しながら締め付けてください。
- ラバーカバーはホースバンド全周を覆うようにして取付けてください。ホースバンドの一部がラバーカバーよりはみ出していると、その部分との接触により排気ホースや車両等の損傷、及び人的損傷を起こす恐れがあります。

＜良い例＞

確実に締め付けられており､溶接部に変形がない
状態　**Fig. 7(a)**

＜悪い例＞　　溶接部の変形

過度の締め付けにより溶接部に大きな変形が
見られる状態　**Fig. 7(b)**

3.5 接続ダクトの取付け（Fig. 8）

接続ダクトはホースバンドで固定してください。
また、取付けは穴を開けたり、ネジで止めたりしないでください。

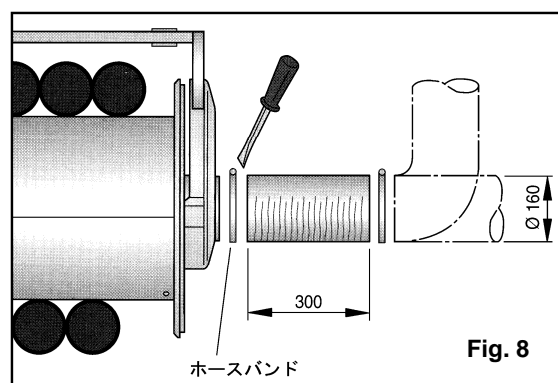



Fig. 8

3.6 ダンパーの確認（Fig. 9）
（スプリング式排気ホースリールの場合）
スイベルサイドカバーにあるマーカーが、排気ホースを引出すときは緑（ダンパーが開いた状態)、巻取るときは赤（ダンパーが閉じた状態）になることをご確認ください。

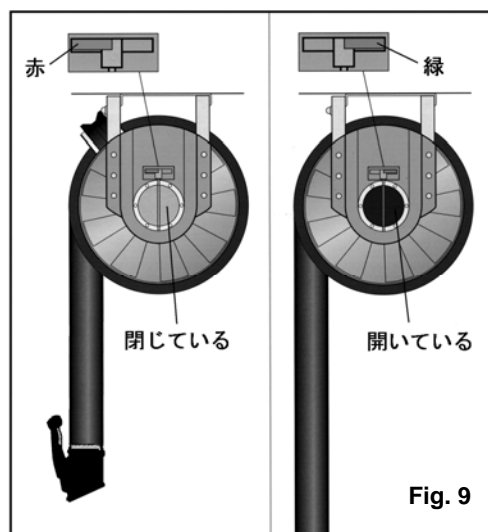



Fig. 9

3.7 コントローラー用ホルダーの設置（Fig.10）

ホルダーの設置は、ネジやビスなどで取付けてください。

＜取付寸法＞

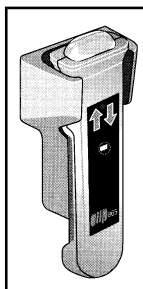
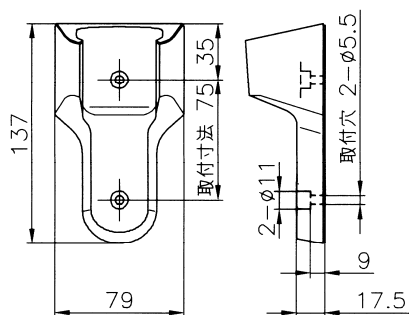



Fig.10

4. 電気配線

＜電動式排気ホースリールの場合＞

1) モーターカバーの取付け・取外し

カバーはトルクスネジで留めてありますので、取外しなどにはトルクスドライバー（T20）をご使用ください。（Fig.11）

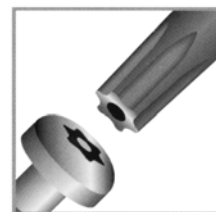



Fig.11

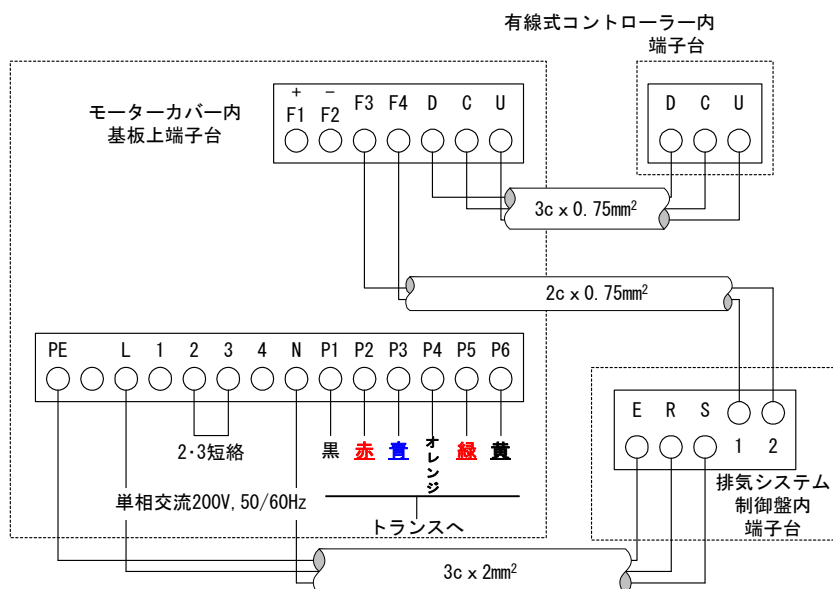
2) 電源線の接続

電動式排気リールの電源は、単相交流（AC200V, 50/60Hz）です。電源線は、基板上端子台の L-N 端子に接続してください。また、アース線は PE 端子に必ず接続してください。電源線には公称断面積が 2 mm^2 以上の電線を用いてください。

3) コントローラーの接続

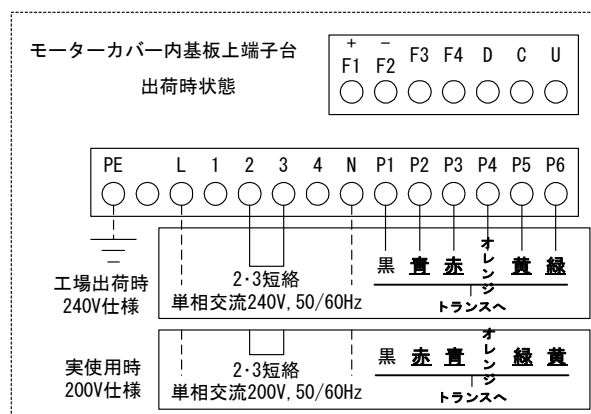
有線コントローラーを使用する場合、端子台の D、C、U 端子に有線コントローラーの信号線を接続します。

4) 信号線の接続（外部機器制御用接点）

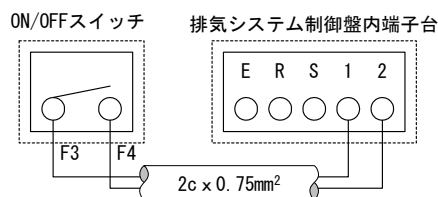
F3-F4 端子は、外部機器制御用の接点になっています。排気システム制御盤を用いる場合、制御盤の 1-2 端子に接続してください。F3-F4 端子の接点は、AC24V/2A の接点容量しかありません。過大な電流や電圧をかけると、接点が焼けてしまいますので定格でお使いください。

5) 電圧の設定（P1～P6 端子及び 1～4 端子）

電圧の設定は、P1～P6 端子に接続されている電線をつなぎ換えることで行います。初期状態（工場出荷時）は 240V 仕様になっていますので、200V 仕様につなぎ換えてから使用してください。また、2-3 端子が短絡されているか、合わせて確認してください。

6) その他の制御

排気システム制御盤などを用いらずに排気ファンを制御したい場合、F1-F2 接点をお使いください。この接点には、DC24V 用のコイルを駆動するための電源があり、直接電磁開閉器を制御することができます。この電源の最大負荷は 5VA です。これ以上の負荷を擁する電磁開閉器はお使いにならないでください。

＜スプリング式排気ホースリール＞

・ON/OFF スイッチの接続（オプション）

ON/OFF スイッチを付けることで、スプリングリールでも排気ファン自動起動を行うことができます。ON/OFF スイッチを排気システム制御盤の 1-2 端子に接続することで、排気ファンの起動などを制御することができます。

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143−8504	東京都大田区南馬込１丁目１番３号	TEL（03）3777−4101（代）	FAX（03）3777−3328
札幌営業所	〒062−0002	札幌市豊平区美園二条６丁目３番16号	TEL（011）821−0630（代）	FAX（011）821−0949
仙台営業所	〒981−3137	宮城県仙台市泉区大沢２丁目２番３号	TEL（022）343−9410（代）	FAX（022）343−9411
東京営業所	〒143−8504	東京都大田区南馬込１丁目１番３号	TEL（03）3777−3171（代）	FAX（03）3777−6770
名古屋営業所	〒463−0052	名古屋市守山区小幡宮ノ腰７番38号	TEL（052）795−0222（代）	FAX（052）795−0444
大阪営業所	〒537−0025	大阪市東成区中道３丁目15番２号	TEL（06）6971−5301（代）	FAX（06）6974−0497
広島営業所	〒731−5128	広島市佐伯区五日市中央３丁目３番９号	TEL（082）275−5852（代）	FAX（082）275−5853
福岡営業所	〒812−0888	福岡市博多区板付５丁目18番14号	TEL（092）581−5477（代）	FAX（092）581−6524

YAMADA　AMERICA Inc.	955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA	TEL 1−847−631−9200
YAMADA　EUROPE B.V	Aquamarijnstraat 50−7554 NS Hengelo(O), The Netherlands	TEL 31−0−74−242−2032
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司	上海市浦东新区金桥路 2690 弄 48 号 7 号门	TEL 86−21−3895−3699

201403 EXT011S